



金太郎生誕の地 おやま

# 平成30年度 小山町 部長マニフェスト

平成 30 年 4 月

小 山 町

# 目 次

◇ 部長マニフェストの概要	1
◇ 部長マニフェスト	
● 企画総務部長	2
● 住民福祉部長	3
● 経済建設部長	4
● 未来創造部長	5
● オリンピック・パラリンピック推進局長	6
● 教育次長	7

## 部長マニフェストの概要

### 1 作成の目的

- (1) 各部の基本方針や重点的に取り組む施策及びその目標を明らかにし、町民に開かれた行政運営を目指します。
- (2) 組織で施策の目標を共有化することにより、目標の達成に向けて職員が一体となって施策の推進に取り組めます。
- (3) 毎年、施策の目標の達成状況を評価し、翌年度のマニフェストに反映することにより、施策のPDCAを図ります。

### 2 作成者

企画総務部長、住民福祉部長、経済建設部長、経済建設部長代理、教育次長、危機管理監

### 3 記載項目

項目	内容
部の紹介	部の所属課及び職員数を記載しています。
部の基本方針	部が抱える重要課題等について、その解決に向けた基本的な考え方を記載しています。
重点施策	当該年度に重点的に取り組む施策について、具体的取組及び目標を記載しています。

### 4 評価（翌年度）

翌年度当初にマニフェストへの取組及び目標達成状況について評価を行います。

### 5 公表

- (1) マニフェストは町のホームページ及び広報おやまを通じて公表します。
  - ・ホームページ：5月初旬、広報おやま：5月号
- (2) 翌年度当初に行う評価についても、評価結果として公表します。

# 平成30年度 企画総務部長マニフェスト

## ◎部の紹介（平成30年4月1日現在）

【所属課】 町長戦略課、シティプロモーション推進課、総務課、税務課  
 【職員数】 正職員34人 臨時職員等7人



部長 湯山博一

## ◎基本方針

小山町を元気にする「金太郎大作戦」第二章及び第4次小山町総合計画後期基本計画の各施策を速やかに推進するために、多岐にわたる事業の進行等について調整を図り、より効率的な資源の活用に努めると共に、財政状況、職場環境等の向上に努めます。

## ◎重点施策

No	施策	具体的取組	目標
1	シティプロモーションの推進	平成29年度に策定した指針に基づく、具体的な事業を実施する仕組みを築きます	・指針に基づくアクションプランを策定、事業を実施し、チェック、改善を行います
2	地域公共交通の活性化	「小山町地域公共交通網形成計画」に基づき運行しているコミュニティバス及び実証実験運行バスの乗車人数の増加を図る取り組みをします	・現行の仕組みを全面的に見直し、オンデマンドなど新たな取組を遅くとも平成31年度から始めるように準備します
3	富士山頂境界問題解決の進捗を図ります。	長年の課題である富士山頂の境界画定のために、富士宮市、御殿場市等と協議をし、解決に向けた取り組みをします	古文書、GPS測定の結果など、これまでの資料を整理し、「境界に関する研究会」を再開します
4	健全な財政運営の確立	未来拠点事業や文化財修景復元事業など大規模事業が多い中、財政調整基金の確保など健全で弾力的な財政運営を確保する	・財政調整基金年度末現在高6億円以上 ・総合計画推進基金年度末現在高6億円以上 ・健全化判断比率2指標の改善
5	働き方改革	慢性的な時間外勤務や休日出勤などについて現状を調査し、健全なワークライフバランスの実現を図る	・ノー残業デイの実施 各所属一月あたり3日以上 ・年次有給休暇取得日数 平均9日以上

# 平成30年度 住民福祉部長マニフェスト

## ◎部の紹介（平成30年4月1日現在）

【所属課】 住民福祉課、介護長寿課、健康増進課、くらし安全課  
 【職員数】 正職員33人 臨時職員等12人



部長 小野一彦

## ◎基本方針

町民に安全安心な生活を提供するため、安全安心の基本となる心身の健康を維持するための各種施策を実施すると共に、各保険制度の健全運営を維持します。また、ごみの減量やリサイクルを推進することにより、持続可能な循環型社会を目指すと共に、環境美化を推進します。

## ◎重点施策

No	施策	具体的取組	目標
1	国民健康保険の特定健診の受診率向上	・疾病の早期発見と早期治療により重症化を防ぎ、医療費を適正化するため、特定健診受診キャンペーン（啓発、通知、電話）を実施します	・特定健診の受診率 平成30年度目標 60% （平成29年度実績 49.3%（速報値））
2	介護予防施策の充実	・高齢者の生きがいと健康づくりを推進するため、ふれあい茶論等を開催します ・地域において認知症の方が穏やかに生活するための見守りのため、認知症サポーター養成講座を開催します	・ふれあい茶論等の参加者数 平成30年度目標 4,200人 （平成29年度実績 4,145人） ・認知症サポーター養成講座受講者 平成30年度目標 350人 （平成29年度実績 302人）
3	お達者度向上プロジェクト事業の推進	・高齢者の健康づくりと生活習慣病の予防のため、高齢者の自主運動教室、出張けんこう講座を開催します。 ・健康マイレージ事業を推進します	・高齢者の自主運動教室実施 平成30年度目標 20教室 （平成29年度実績 17教室） ・出張けんこう講座の参加者 平成30年度目標 1,450人 （平成29年度実績 1,407人） ・健康マイレージポイント達成者 平成30年度目標 700人 （平成29年度実績 616人）
4	がん検診の精密検査受診率向上	・がん検診については、受診率50%を目標に広報や啓発をしていますが、検査後の精密検査対象者の受診が特に重要なので、精密検査の受診勧奨をします	・がん検診精密検査受診率 平成30年度目標 90%：第3次ふじのくに健康増進計画後期アクションプラン地域別計画 （平成29年度実績 97.3%、431人）
5	一人一日当たりごみ排出量の減量	・リサイクルを推進し、ごみ排出マナーの徹底を図り、一般収集ごみ（可燃、不燃、資源）のさらなる減量を推進します	・町民一人一日当たり排出量 平成30年度目標 520グラム以下：小山町一般廃棄物処理基本計画 （平成29年度実績 523グラム）

# 平成30年度 経済建設部長マニフェスト

## ◎部の紹介（平成30年4月1日現在）

【所属課】 建設課、農林課、商工観光課、上下水道課  
 【職員数】 正職員37人 臨時職員等2人



部長 野木雄次

## ◎基本方針

「金太郎のように力強い経済」の実現を目指します。  
 町の魅力を高める施策を展開しながらインフラ整備を進めます。  
 各施策を交流人口の拡大、定住人口の確保へとつなげることで、経済活動の活性化を促します。

## ◎重点施策

No	施策	具体的取組	目標
1	小山町観光振興計画アクションプランの推進	富士山や町内の観光資源を活用した観光交流客数の増加の取組みと共に、観光インフラの整備として、情報、交通基盤の整備、広域連携、観光客の受け入れ態勢の充実を関係機関と連携して進めます	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アクションプランに掲げる25項目の年度目標値の達成</li> <li>・DMO※の構築に向けて、地域資源を活用した着地型旅行商品の造成や来訪者をもてなす観光ガイドの養成など受入れ環境の整備を進めます</li> <li>・静岡県全域で実施するデスティネーションキャンペーンの1年目となるプレキャンペーンでは町内の旅行商品を売り込み、ツアー造成を促進します</li> </ul>
2	道路インフラ整備の推進	新東名高速道路建設及び（仮称）小山PAスマートインターチェンジ設置に伴う幹線道路整備事業の進捗を図ります	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町道3628号線の工事推進及び上野大御神線の用地・物件補償の完了</li> <li>・（都）大胡田用沢線の県道須走小山線への接続（平成31年度完了）</li> </ul>
3	適正に管理された森林の拡大	適正に管理した森林を拡大するため、森林経営計画を策定し、間伐等の森林整備を実施します。また森林資源の循環利用を図るため、人工林の主伐と植栽を推進します	<ul style="list-style-type: none"> <li>・森林経営計画の拡大 年間100ha</li> <li>・主伐及び植栽 年間10ha</li> </ul>
4	地産地消の推進	地元農産物を直売所への出荷や学校給食での利用を拡大するために、道の駅「ふじおやま」出荷組合等の団体と連携し、土壌分析や講習会等を実施し、地産地消を推進します	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生産者を対象とした講習会等の開催 5回、100人の参加</li> </ul>
5	安全な水の安定供給	安全な水道水を安定供給できるように上水道第6期拡張事業計画に基づき事業を実施すると共に、予想される大規模地震に備え、水道施設の更新を進めます	主要な管路の耐震化率の向上 平成30年度末 34% <ul style="list-style-type: none"> <li>・町道上野大御神線配水管布設工事</li> <li>・須走水系送水管改良工事</li> <li>・町道3866号線排水管切り回し工事</li> <li>・老朽管更新工事</li> </ul>

# 平成30年度 未来創造部長マニフェスト

## ◎未来創造部の紹介（平成30年4月1日現在）

【所属課】 未来拠点課、おやまで暮らそう課、都市整備課  
 【職員数】 正職員23人、臨時職員等4人



部長 遠藤正樹

## ◎基本方針

「小山町まち・ひと・しごと創生総合戦略」に掲げる「産業拠点の整備を中心とした多彩な雇用機会の創出」「居住環境の整備による定住・移住の促進」を官民一体となった取組みにより推進するため、三来拠点事業や子育て若者世代を中心とした移住・定住事業を着実に進めます。

## ◎重点施策

No	施策	具体的取組	目標
1	三来拠点事業（小山PA周辺地区）の着実な推進	新東名高速道路の「小山PA周辺地区」に地域防災力を高める観光関連施設及びモータースポーツ関連産業の集積を進めるため、町が事業主体となって、開発を推進します	<ul style="list-style-type: none"> <li>・進出企業（造成事業協力者）との基本協定を締結します。</li> <li>・用地買収の完了を目指します</li> </ul>
2	三来拠点事業（湯船原地区）の着実な推進	三来拠点事業の先進地区である、「湯船原地区」に「地域資源循環型林業」を中心として複合的な開発を推進します	<ul style="list-style-type: none"> <li>・林業エリアでは、木質バイオマス発電を開始し、小山町新電力会社運営の検討を行います。</li> <li>・アグリインダストリーエリアでは、工事を実施しながら熱供給事業の検討を進めます。</li> <li>・上野工業団地では、用地買収の完了を目指します</li> </ul>
3	三来拠点事業（足柄SA周辺地区）の着実な推進	現東名高速道路の「足柄SA周辺地区」への進出企業に協力し、観光複合施設建設を推進します	<ul style="list-style-type: none"> <li>・用地買収受託事務の完了と事業者の静岡県への土地利用申請を支援します</li> <li>・産直市場への各種団体の参画を図ります</li> </ul>
4	定住促進事業の推進	優良田園住宅36区画の分譲販売を促進するため、首都圏で開催される移住フェア等への参加、近隣市町には広報活動を積極的に行い、分譲販売の促進に努めます	<ul style="list-style-type: none"> <li>・わさび平全36区画の完売を目指します</li> <li>・宮ノ台地区の宅地造成事業に取り組み、年度内の工事着手を目指します。</li> <li>・落合社宅の跡地利用に取り組み、年度内の工事着手を目指します</li> </ul>
5	道路インフラ整備の推進	新東名高速道路建設及び足柄スマートインターチェンジ設置に伴う幹線道路整備と都市計画道路大胡田用沢線の事業進捗を図ります	都市計画道路大胡田用沢線の用地取得の完了と工事着手を目指します

# 平成30年度 オリンピック・パラリンピック推進局長マニフェスト

## ◎局の紹介（平成30年4月1日現在）

【職員数】 正職員4人（兼務参事6人：シティプロモーション推進課長、建設課長、商工観光課長、都市整備課長、くらし安全課長、生涯学習課長）



局長 池谷精市

## ◎基本方針

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会「自転車競技ロードレース」の会場が富士スピードウェイに決まり、小山町は大会の開催地となりました。

小山町を世界に向けて発信する最高の機会となるよう、役場内を横断的に調整し、おもてなしの精神を持って、大会の成功に向けて取り組んで参ります。

## ◎重点施策

No	施策	具体的取組	目標
1	推進組織の構築	大会開催までの期間が短いことを考慮して、効率的な庁内組織と全町を挙げて大会を支援する組織を早期に構築します	<ul style="list-style-type: none"> <li>・庁内に推進本部会議を設置</li> <li>・全町的な開催支援組織の設置</li> </ul>
2	機運醸成への取組み（PR活動）	自転車競技ロードレースの開催地となったことの周知を図り、自転車競技への理解を深める取組みを推進します	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町内開催の自転車レースでのPR</li> <li>・出前講座の開催</li> </ul>
3	機運醸成への取組み（イベント開催）	開催700、600、500日前イベントを開催して、広く機運醸成を図ります	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年3回のイベント開催</li> </ul>
4	国際交流の推進	2020年の大会を契機に、本町を訪れる外国人との交流、将来を担う子どもたちが世界の文化に触れる機会の創出を目的に国際交流の推進を図ります	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ホストタウンへの登録（イタリア・台湾）</li> </ul>
5	おもてなしの醸成	小山町を訪れた人の心に、その思い出が深く残るよう、本町の特色を活かしたおもてなしを官民連携して取り組みます	<ul style="list-style-type: none"> <li>・DMO※と連携して、町内の観光スポットや観光施設における来訪者の受け皿づくり</li> </ul>

※ DMOとは、地域の観光地経営をけん引していく組織です



# 平成 30 年度 教育次長マニフェスト

## ◎教育委員会の紹介（平成30年4月1日現在）

【所属課】 こども育成課（小学校、中学校、保育園、こども園、幼稚園を含む）、生涯学習課  
 【職員数】 正職員 76 人 臨時職員等 165 人 県費負担職員（本務者）123 人



## ◎基本方針

【気高い富士 金太郎のように思いやる心を持つたくましい人づくり】  
 豊かな人間性を持ち「困難・問題をきちんと受け止め、泰然と対処できる人」  
 づくりを目指します。

次長 長田忠典

## ◎重点施策

No	施策	具体的取組	目標
1	保育と教育の両方の機能を持つ認定こども園への移行	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校区ごとに、保育園と幼稚園を認定こども園に移行していきます。</li> <li>・上野・湯船地区に整備している工業団地へ勤務する方の子どもを預けられるように、また、待機児童解消対策のため民間認定こども園を誘致します</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・須走地区の認定こども園の設計</li> <li>・成美地区、明倫地区の認定こども園化への検討及び準備</li> <li>・上野地先への民間認定こども園を建設する事業者の決定、建設に係る補助金申請等の手続き</li> </ul>
2	子育て支援の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子育て支援センター「きんたろうひろば」の運営の充実。保育園のペンギンランドや総合文化会館等と連携して事業を充実していきます</li> <li>・足柄小学校放課後子ども教室の平成 31 年度開設の準備</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・きんたろうひろばの来場者 1 万人を突破する</li> <li>・他の機関等との連携イベントを実施します</li> </ul>
3	確かな学力の向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新学習指導要領による小学校 3・4 年生の「外国語活動」、小学校 5・6 年生の「外国語」に向けて準備を進めていきます</li> <li>・ICT 教育を推進していくため、機器やソフトについて研究し、平成 31 年度整備に向けて方針を決定していきます</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学 3・4 年生は年間 15 時間、小学 5・6 年生は年間 50 時間英語(外国語)授業を実施(昨年度から 15 時間増)、英語授業研究の実施(町内一斉授業研修)、教員の海外研修の実施</li> <li>・ICT 教育に係る整備方針の策定</li> </ul>
4	ふるさと(小山町)を知り、愛する子どもの育成	<p>【ふるさと金太郎博士事業の開始】</p> 小学校 3 年生から中学校 3 年生までの町内全児童及び生徒を対象に、町や地域の行事への参加やボランティア、企業見学、史跡めぐり等を実施した場合にポイントを付与し、達成ポイントごとに表彰していきます	事業の仕組み、関係者等への周知を 6 月までに行い、7 月から子ども達が参加できるよう進めていきます。 初めての事業となるため、関係者等の意見を参考に、改善等を行っていきます
5	文化財復原及び PR による地域への愛着向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町民に、身近な文化財等を知ってもらうために、文化財冊子を作成します。</li> <li>・登録有形文化財である森村橋を建設当時に近づける復原工事を進め、工事の様子を記録していきます</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・親しみやすい文化財解説冊子(北郷地区版)の作成及び配布</li> <li>・橋の兩岸の広場等の周辺整備の設計及び工事の準備</li> </ul>